



門川小  
HPへ



「QRコード」は、株式会社デンソーウェブの登録商標です。

# 校長室通信

～ ハートフル門小 ～



令和7年度 第2号 (令和7年5月15日発行)

R7 教育目標：自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成 ⇒ 「知恵いっぱい・心いっぱい・汗いっぱい」

## 学校経営に関する数値目標を公表

～ 「脚下照顧」で目標達成へ ～

新年度スタートの数日間を、学校現場では「黄金の3日間」や「黄金の1週間」などと言ったりします。「教師にとって、最初の数日間ほど大切な日はない」という意味で、4月最初の数日間の児童への指導や関係性の構築によって、1年間の学級経営がうまくいくかどうかが決まるというものです。そのため、どの職員も3日間とは言わず、4月まるまる1ヶ月間をかけて、子ども達の学習習慣や生活習慣づくりに奔走し、おかげで令和7年度門川小学校の幕開けは比較的落ち着いたものとなりました。

さて、下の表は、PTA 総会でも説明した「本年度の重点目標」と「校長としての数値目標」です。数値目標の2段目の項目は、PTA 総会時には「学年に応じた挨拶や廊下歩行(教職員アンケート75%以上)」と説明しましたが、4月の子ども達の様子を見て、「**トイレのスリッパをそろえている(3～6年児童・教職員アンケート70%以上)**」に変更しました。男女問わずなかなかスリッパが揃えられなかったり、シューズのままトイレに入ったりする児童を見かけるのが現状です。職員の合い言葉は『**脚下照顧**』… まずは、足下から生徒指導を充実させていきたいと思っています。家の玄関の履き物は揃えられていますか？



↑なかなか揃わないトイレのスリッパ…全員が、次に使う人のことまで思いやれるような学校を目指したいです。

裏面に「重点目標」を掲載

令和7年度  
重点目標

- 1 生徒指導の充実
- 2 学習習慣の定着
- 3 防災・安全に係る指導の充実
- 4 家庭・地域・関係機関との連携推進

目標との関連	目標項目	対象等	目標設定値	参考値(昨年度)
1	「学校は楽しい」	アンケート(3～6年)	肯定回答90%以上	80.9%(5・6年)
1(新)	「トイレのスリッパをそろえている」	アンケート(教職員・3～6年)	肯定回答70%以上	—
2	「学年に応じた“授業の五箇条”」	アンケート(教職員)	肯定回答75%以上	66.7%(教職員)
2	学校図書館貸出冊数	全校児童	昨年度以上	20,184冊
2	CRT(標準学力テスト)	全学年	昨年度の学年平均(全国比)以上	約半分の学年・教科で前年度を上回る
3(新)	「一人で避難できる自信がある」	アンケート(3～6年)	肯定回答90%以上	—
4	学校ホームページ閲覧数	閲覧者	30万件以上	304,748件
4	児童作品新聞掲載数	全校児童	40点以上	34点

## 全員の個人面談を6月に変更

～ 令和7年度の変更点【その①】～

5年前のコロナの発生と同時に、それまでは毎年当たり前のように4月に行っていた「家庭訪問」ができなくなり、現在ではほとんどの学校で「個人面談」が導入されています。本校も昨年度までは、4月に「希望面談」、夏休みに入ってから「全員面談」を行ってきました。今年度は「全員面談」の時期を変更し、6月2日(月)～10日(火)の期間に行うことにしました。理由は以下のとおりです。保護者と担任とが1対1で顔を合わせる面談自体にも大きな意味がありますが、面談をきっかけとして、これまで以上に保護者と担任とが同じ思いでお子さんの成長を見守り、支えていくことが大切です。

- 【理由①】 個々の実態を的確に把握した上で、できるだけ早く面談を実施し、1学期後半の学校や家庭での生活に生かすため。  
【理由②】 夏休み前半に面談を実施しても、その内容を2学期の学校や家庭での生活に生かすには期間が空きすぎてしまうため。

## 5月25日は「一斉避難訓練」

～ 家庭でも“防災教育”を～

海岸線に立地する学校として、そしてそこに住み続ける住民である限り、他の地域よりも「防災意識」を高めていく必要があると考え、今年度は前述したように、学校の重点目標に「3 防災・安全に係る指導の充実」を追加したところです。今回の『門川町全域・一斉避難訓練』は、年1回、ご家庭で“防災教育”を行うチャンスだと思います。わずか30分程度で終わる訓練ですので、もし他の用事がなければ、親子で訓練に参加することで「自分の命は自分で守る」ことを我が子に伝えてください！ PTA総会で紹介した言葉「子は親の鏡、親は子の鑑」、つまり

「子の防災意識 = 親の防災意識」だと思います…

◆訓練の日時：5月25日(日)9時～9時30分

◆避難場所：近くの高台や地域で指定された避難所



訓練に参加できない場合には・・・

- ・家族で地震・津波についての話をする。
- ・地図上で近くの避難場所を確認する。
- ・避難時に持っていく物を確認する。
- ・別の日に家族で避難場所へ行ってみる。

## セクハラ相談窓口

セクハラやわいせつ行為等の問題については、職員一同取り組んでいきますが、気になることがある場合には、学級担任以外にも次の職員が相談に応じますので、遠慮なくご相談ください。

【窓口】 校長、教頭、小林孝(生徒指導主事・4の2担任)、久保山由美子(学習指導部長・1の1担任)、榎本朋美(保健主事・6の2担任)、温水穂乃香(養護教諭)